年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅰ・数学 A・数学Ⅱ	単位数	2+2+1 単位
		学年等	1年生普通科普通、国際コミュニケーションコース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ⑴ 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ⑵ 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 ⑶ 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
使用教科書 副教材等	教科書:数学Ⅰ・数学 A・数学Ⅱ(数研出版) 副教材:サクシード 数学Ⅰ+A、サクシード 数学Ⅱ+B、チャート式数学Ⅰ+A、チャート式数学Ⅱ+B(数研出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数や式を多面的にみたり適切に変形する力、図形について論理的に考察し簡潔・明瞭・的確に表現する力、事象を的確に表現してその特徴を考察する力、適切な分析を行い、問題解決やその過程と結果を考察し判断する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。
評価点	400 点	400 点	400 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	数学Ⅰ 第１章 数と式 第２章 集合と命題 第３章 ２次関数 第４章 図形と計量 第５章 データの分析	定期考査 単元テスト 定期考査 単元テスト	定期考査 単元テスト 定期考査 単元テスト	パフォーマンス課題 学習課題 パフォーマンス課題 学習課題
	評価点	200 点	200 点	200 点
後期	数学 A 第１章 場合の数と確率 第２章 図形の性質 第３章 数学と人間の活動 数学Ⅱ 第１章 式と証明 第２章 複素数と方程式	定期考査 単元テスト 定期考査 単元テスト	定期考査 単元テスト 定期考査 単元テスト	パフォーマンス課題 学習課題 パフォーマンス課題 学習課題
	評価点	200 点	200 点	200 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	数学Ⅰ　第１章　数と式	15
		第１節　式の計算	
		第２節　実数	
	5	第３節　１次不等式	6
		第２章　集合と命題	
		第３章　２次関数	23
	6	第１節　２次関数とグラフ　　パフォーマンス課題（２次関数）	
		第２節　２次方程式と２次不等式	
		第1回考査	
	7	第４章　図形と計量	20
	8	第１節　三角比	
	9	第２節　三角形への応用　　パフォーマンス課題（図形と計量）	
		第５章　データの分析	6
		（数学Ａ　第１章　場合の数と確率）	
		（第１節　場合の数　※学習は進めますが考査の範囲としては第３回になります。）	
		第2回考査	
後期	9	数学Ａ　第１章　場合の数と確率	35
		第１節　場合の数	
	10	第２節　確率	
		第２章　図形の性質　　パフォーマンス課題（場合の数と確率）	15
	11	第１節　平面図形	
		第２節　空間図形	
	12	第3回考査	
		第３章　数学と人間の活動	20
	1	数学Ⅱ　第１章　式と証明	
	2	第１節　式と計算　　パフォーマンス課題（数学と人間の活動）	19
	3	第２節　等式と不等式の証明	
		第２章　複素数と方程式	16
		第4回考査	

5 その他

- ○ 授業では、学んだ知識を利用して思考し、ペアワーク、グループワークを通して表現していきます。
- ○ 単元ごとに確認テストを行います。また、ICT 機器などを利用してパフォーマンス課題にも取り組みます。
- ○ 授業を通して物事を多面的に捉え適切に変形し、論理的に考察し的確に表現してその特徴を考察、分析したうえで問題解決やその過程と結果から判断する力を養います。